

第6分野 個性を活かし持続可能な地域づくりを推進するまち

基本方針6

住民主体による手づくり自治と 産業の創出を目指します

～アフターコロナ社会とデジタル化に対応したハンドメイドの里「めいほう」～

事業年度	令和6年度
責任部長	明宝振興事務所長
責任課長	明宝振興課長
責任課	明宝振興課
主管課・関係課	明宝振興課、観光課、商工課、林務課、企画課、政策推進課、学校教育課

■ 施策の概要

施策1: 地域活性化の拠点づくりによる産業・雇用の創出と経済の好循環の確立【主管課: 明宝振興事務所 振興課】

明宝地域の幹線道路である国道472号(通称:せせらぎ街道)の通行量は、東海北陸自動車道の全線開通や4車線化の整備促進に伴う影響を受け、ピーク時に比べて大幅に減少しています。そのため、集客力の向上を目的として、第三セクターなど団体間の連携により新しい産業を創出するとともに、明宝の玄関口であり産業の拠点となっている「道の駅明宝」を中心とした観光戦略の再構築が求められています。そうした中、農山村資源を活かした地域ビジネスが生まれており、引き続き農泊事業等を推進し、新しい産業の創出による雇用拡大と、「道の駅明宝」を拠点とした集客力の向上により、地域内経済の好循環を生み出します。

施策2: 地域資源の有効活用と社会基盤の変化に対応した地域づくり

【主管課: 明宝振興事務所 振興課】

明宝地域では、里山保全活動が盛んに行われていますが、今後、少子高齢化に伴い活動の衰退が懸念されます。豊かな里山を守るためには、農山地整備を推進するとともに、資源の有効活用が必要です。そのため、今後は、獣害対策による獣肉等の利活用や、森、河川等の豊かな地域資源を活かした再生可能エネルギーの活用を推進することで、防災や減災に役立てるとともに、得られた収益を活用した自治力強化の取り組みを支援します。また、「めいほうトンネル」の開通に伴う交通網の変化による通行量の増加など、社会基盤の変化に対応した地域の安全確保と地域振興を図ります。

施策3: 持続性のある地域活性化を進める地域デザインづくり

【主管課: 明宝振興事務所 振興課】

明宝地域では、伝統行事の継承や集落環境整備等に住民が主体的に取り組んでいます。少子高齢化による人口減少と、若い世代の進学等による地域離れが過疎化に拍車をかけ、地域活力の衰退が懸念されていることから、今後は、自治力の強化と地域の担い手の確保が必要となります。そのため、人と人をつなぎ、地域課題の解決や地域活性化に向けた取り組みを推進していくほか、未来を担う子どもたちに地域の良さを伝え、郷土愛を深める取り組みを推進します。

■ 基本方針に係る総括評価(所見)

【責任部長: 明宝振興事務所長】

道の駅明宝を拠点とした産業振興の面では順調に事業が進められているものの、過疎化と少子高齢化による労働者人口の減少により、各種産業の担い手不足が表面化しつつある。特に、主力産業である明宝ハムの従業員不足による減産は、経済面でも地域に与える影響は大きなものがある。過疎化、少子高齢化は地域の最重要課題ではあるが、様々な取り組みがなかなか成果があらわれていない。

そうした中で、明宝保育園の明宝中学校校舎への移転複合化事業と、令和7年12月完成予定の小川日出雲川の小水力発電事業は、今後の子育て環境の改善や、農山村地域が地域づくり組織を中心に経済的自立を進める上で、大きな転機となることを期待する

地域協議会が中心となった公共交通機関の利用促進に向けた取り組みは、今後もスクールバスも含めた形で、地域全体で考えていく必要がある。また、花桃プロジェクトは、その成果が10年20年先にしか表れない地道な取り組みであることから、自治会や各種団体の協力を得ながら、継続した事業の推進体制を構築する必要がある。

■施策ごとの評価

施策1: 地域活性化の拠点づくりによる産業・雇用の創出と経済の好循環の確立【主管課: 明宝振興事務所 振興課】

評価 **B** **目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。**

▶後期基本計画策定時の「現状と課題」

- ・農山村資源を活かした地域ビジネスへの取り組みの不足
- ・交通量の減少と新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少

◎後期基本計画策定時の「目指す姿」

農山村資源を活かした新たな産業の創出により、人がにぎわう活気にあふれるまち

I. 施策の取組効果や達成状況に関する分析(関連する事務事業の成果や積み残されている課題など)

【成果】

・明宝地域協議会では令和5年度から協議を進めてきた「花桃の里づくり」について、日本一の花桃の里と呼ばれる長野県阿智村の視察を行い、花桃の植栽や管理運営方法等について学んだ。また、花桃の種を阿智村へ拾いに行き、明宝小学校の学校田を整備し、花桃の苗500個を植えた。花桃の植栽を進める協議を進め、今後花桃の植栽など計画的に事業を実施していくため明宝地域協議会委員を中心とした「めいほう花桃プロジェクト」を設立した。

【課題】

- ・10年、20年後を見据えた花桃の管理等の仕組み作り

II. 今後の方向性と具体的な展開

花桃の植栽(明宝温泉周辺、明宝寒水口、道の駅明宝、明宝二間手上)管理

花桃の苗の管理

花桃構想マップの作成

施策2: 地域資源の有効活用と社会基盤の変化に対応した地域づくり

【主管課: 明宝振興事務所 振興課】

評価 **B** **目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。**

▶後期基本計画策定時の「現状と課題」

- ・里山保全活動の衰退
- ・めいほうトンネルの開通
- ・再生可能エネルギーの導入

◎後期基本計画策定時の「目指す姿」

地域資源が有効に活用され、めいほうトンネル開通を契機とした交流による活気あふれるまち

I. 施策の取組効果や達成状況に関する分析(関連する事務事業の成果や積み残されている課題など)

【成果】

明宝地域小川集落の地域おこし実践隊が実施した住民アンケート結果や観光資源を活用した実証実験結果を基礎資料として、住民主体のワークショップや将来に向けた具体的なビジョンづくりをサポートする「集落再生プロジェクト支援事業」を実施し、「小川地域未来ビジョン」を作成した。

【課題】

- ・明宝地域の中でも小川集落は人口減少が著しく、令和2年国勢調査結果では65歳以上の高齢者率は51.97%であり、15歳から64歳の生産年齢人口を上回っている状態である。また、小川集落には花桃をはじめ、大滝や森本遺跡、宿泊施設である「小川きの里」などの観光資源があるほか、日出雲川を利用した小水力発電事業にも着手したところであるが、集落にはこれらを活用して活性化を図るノウハウが無い。これまでの組織体制で地域づくりを進めることは将来性が無く、収益も見込めない。
- ・労働力、担い手の減少。
- ・地域をコーディネート機能を持つ組織を整備する必要がある。

II. 今後の方向性と具体的な展開

- ・「小川らしさ」を保ちながら持続可能な社会へ向け新たな組織体制を構築し事業展開していく。
- ・小水力発電や、生産林の活用により自給自足で自治コストを削減する。
- ・小川に関心のある移住やUターン者の問い合わせ窓口や、働く場所、住まいの整備。
- ・旧小川小学校の利活用。
- ・地域伝統行事・祭礼の継続と魅力発信。

評価

B

目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

<p>▶後期基本計画策定時の「現状と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化に伴う地域活力の衰退 ・自治力の低下と担い手の不足 	<p>◎後期基本計画策定時の「目指す姿」</p> <p>担い手確保と人材育成により、地域課題に向けて住民自らが主体となつて行動するまち</p>
--	---

I. 施策の取組効果や達成状況に関する分析(関連する事務事業の成果や積み残されている課題など)

【成果】

・明宝地域協議会では、高齢者への公共交通の利用促進とシニアカーの取得を支援し、高齢者の安全と利便性の向上を図ることを目的として、公共交通を利用した買い物体験ツアーと電動シニアカーの所有状況等のアンケート調査を実施。ツアーを体験することによって、公共交通の利用の促進、この機会に公共交通機関の利用の仕方を学び、免許証返納後に公共交通を利用した生活を想像できるなどの利点があった。また電動シニアカーのアンケートにより、所有状況、借りたい人の人数把握などができた。

・明宝保育園の老朽化に伴い移転を検討していく中で、明宝中学校の特別教室を集約し、生まれた空きスペースに保育園機能を移転し明宝保育園と明宝中学校を複合化することにより、事業費を抑制しながら必要な機能を確保する。

【課題】

- ・高齢化が進む中、地理的条件などから自家用車による移動が主であり、高齢になっても免許返納が進まないのが現状である。また自家用車を利用することで公共交通の利用は少なく非効率な状況である。
- ・明宝保育園は、昭和57年に建築されて43年が経過しており、施設の老朽化が著しいことに加え、園舎敷地は土砂災害特別警戒区域に指定されており、土砂災害の危険性が高い場所となっている。
- ・少子化により出生数が減少。明宝中学校では、新校舎建設当時(H10)には91名であった生徒数が、現在では30人にまで減少しており、特別教室では空きスペースが生じている。

II. 今後の方向性と具体的な展開

- ・電動シニアカーの貸し借りの仕組みづくり
- ・明宝保育園複合化準備委員会を開催
- ・保護者等に向けた明宝保育園複合化の現地説明会開催
- ・明宝保育園と明宝中学校の複合化整備

■後期基本計画策定後新たに生じた課題等

- ・電気料金など、光熱水費の高騰による地域経済の悪化
- ・寒水の掛踊のユネスコ無形文化遺産登録に伴う観光対策

■関連する個別計画の有無

無